

## 《人権を尊重した主な取組や成果》

当社は、すべてのステークホルダーの基本的な人権が尊重される事業と企業風土の醸成に取り組んでいます。人種や国籍・性別・性的指向・性自認・出身・社会的身分・信条・宗教・障がい・身体的特徴などを理由とした差別や、セクシュアルハラスメントやパワーハラスメントに代表される人権侵害を行うことなく、多様性のある社会の一員として企業活動を展開しています。

## 特に力を入れている取組

### 女性活躍や子どもの健全育成の推進

女性

○ 育児・介護休業制度のほか、子どもの看護休暇、小学4年生までの子をもつ社員の育児短時間勤務制度を整え、積極的な活用を促しています。

子ども

○ 子育て支援の取組の一環として、いつでも紙おむつや液体ミルクを買える「子育て応援自販機」を道の駅に設置しています。

○ 「子どもの安全を見守る運動」として車両にステッカー(右)を掲示し、業務を通して子どもの安全を見守っています。



### 犯罪被害者への支援

犯罪被害者等

○ 自動販売機の売上げの一部を、(公社)北海道家庭生活総合カウンセリングセンターに寄付し、同センターの犯罪被害者等支援事業を支援しています。

### アイヌ文化の振興

アイヌの人たち

○ ウポポイ(民族共生象徴空間)に設置した空容器回収ボックスで回収した空容器1本につき1円を(公財)アイヌ民族文化財団に寄付し、アイヌ文化の振興に役立ててもらっています。

### LGBTフレンドリーな企業に向けて

性的マイノリティ

○ 就業規則上で同性パートナーを配偶者と同等の扱いとし、各種制度適用の対象としています。

○ 従業員が多様な性のあり方を理解し、適切な対応がとれるようハンドブック(右)を作成し、社内はもとよりホームページなどで広く公開しています。



### ハラスメントの禁止

その他

○ 管理職を対象に、DE&I推進、LGBTQ、障がい者、ハラスメント防止の4分野で構成される研修を実施しています。

○ あらゆる差別・ハラスメントに関する相談窓口(オープンドアールーム)を設置し、グループ全従業員に周知しています。

## 関連した取組

### ■人権に関する他の制度などの認定状況

- ・札幌市LGBTフレンドリー企業指標制度<星3>(2021年)
- ・SDGs経営総合表彰(札幌商工会議所, 2021年)
- ・PRIDE指標GOLD((一社)work with Pride 2022年)

### ■SDGsの取組と目指すゴール

1. 環境 北海道の限りある資源を次世代へとつなぐ
2. 社会 ネットワークを活かし社会課題解決に貢献
3. 経済 ワークとライフの充実で新たな価値を提供

## 会社概要

私たちは、北海道に生まれ、北海道に育てられたどさんこ企業です。「北の大地とともに」をスローガンに、清涼飲料水の製造及び販売を通して、北海道の持続可能な社会の実現を目指した活動を幅広く実施していきます。



### 企業情報

設立年	1963年(昭和38年)
資本金	2,935百万円
代表者	代表取締役社長 佐々木 康行
従業員数	200人 ※グループ1,235名
本社所在地	札幌市